

氏名： 新名 謙二 (NIINA Kenji)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
職名： 准教授
学位： 修士 (教育学) (1991 東京大学)
専門分野： スポーツマネジメント、特にスポーツ施設の立地とスポーツ消費者行動
E-mail： nina.kenji@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

スポーツ消費／時系列分析／地理情報システム
sports consumption / time series analysis / GIS

◆研究内容 / Research Pursuits

スポーツ消費の時系列分析

2008年度に生じた世界同時不況は、スポーツ消費の分野にも多大な影響を及ぼしたと推測される。その影響がどの程度の規模であるのか、またどの程度の期間継続するかについては、今後研究が必要とされるテーマである。このテーマに対してどのような分析方法が適切であるのかを検討している段階である。

GISを利用したスポーツ消費分析

地理情報システム (GIS) を利用したスポーツ消費行動分析を、早稲田大学スポーツビジネス研究所のメンバー及び大学院生と協力して実施している。2008年度は公共スポーツ施設利用者の分布に関する研究において、共同研究者として分析手法の妥当性の検討に貢献した。

◆教育内容 / Educational Pursuits

大学院博士前期課程においては「スポーツマネジメント特論」、「スポーツマネジメント演習」の授業を担当した。後者は文化マネジメント副専攻の選択必修科目である。また、平成 19 年度入学生 2 名の主任指導教員として指導を担当した。いずれも舞踊分野におけるマネジメントに関する研究に取り組んでいる。

学部専門科目においては、「スポーツ人間学」、「スポーツ人間学実験演習」、卒業論文の指導を通じて、スポーツ及び舞踊分野におけるマネジメントの考え方を学生に対して指導した。

卒業論文は 2 名の指導を行った。卒業論文の分野は下記の通りである。

プロ野球のマネジメント (1)

舞踊作品におけるコラボレーション (1)

コア科目においては、必修科目である「スポーツ健康実習」の担当者として、前期は共通フィットネスを 2 コマ、後期はバドミントンを 2 コマ、多種目を 1 コマ担当した。

「スポーツ健康実習」はカリキュラム改正に伴う授業内容変更後の 4 年目であり、新しいシステムでの授業も軌道に乗ってきたことから、授業内容と体力向上の関連についての分析に着手した。

◆研究計画

スポーツ消費を説明する経済モデルの構築
国家レベルのスポーツマネジメントの比較研究

◆メッセージ

スポーツマネジメントの分野は現在多くの大学において取り組みが始まっている注目すべき分野です。残念ながら、スポーツマネジメントに関わる女性の数はまだまだ少数です。スポーツに興味を持っている人が集まることを期待します。